

令和7年度 神奈川県小学生陸上競技春季交流記録会競技者注意事項

- 1 規 則 本大会は、2025年度日本陸上競技連盟競技規則を準用して実施する。ただし、児童である年齢を考慮した教育的配慮のもとに競技・運営をする。
- 2 練 習 練習は練習場または指定された場所を利用すること。
- 3 プロ訂正 プログラムのアスリートビブス(ナンバーカード)や氏名等に記載誤りがあった場合は、午前8時30分までに受付に申し出ること。
- 4 招 集 (1)招集所は、100mスタート地点後方に設ける。(朝の受付とは別になる)
(2)出場者は自分の出場する種目ごとに、プログラム記載の招集時間内に招集所で自分の名前にチェックし、トラック競技出場者はレーン表示腰ナンバーカードを受け取り、右腰後方に付ける(安全ピンは各自で用意する)。コンバインドは、種目毎に、その都度招集を行う。
(3)招集時間はトラック種目：競技開始35分前から20分前まで、フィールド種目：競技開始45分前から30分前まで。時間に遅れないようにすること。
その後、競技者係審判員の指示に従って待機すること。
- 5 退 場 競技役員の指示に従って退場すること。
- 6 アスリートビブス
(1)アスリートビブスは受付時に配付する。また、競技終了後帰りに、アスリートビブスはナンバー順にそろえて、代表者が受付に必ず返却する。
(2)安全ピン(1名につきトラック種目出場者は12本必要)は参加者がすること。
(3)アスリートビブスは胸と背に配付時の状態で、1枚ずつ確実につけること。
(4)トラック種目出場者は腰ナンバーカードを腰部分の体側右後方につけること。
* 腰ナンバーカード(レーン番号)は招集所にて配付。各レース後普及部員が回収する。
- 7 リレー競技
リレー競技に出場するチームは「リレーオーダー用紙」1部を、招集完了60分前までに招集所(100mスタート側スタンド下)に、提出すること。なお、リレーオーダー用紙はプログラム内のものを使用すること。リレーのオーダーは、申し込んだリレーチームのメンバーの中からのみの編成とする。
- 8 競技方法 (1)計 時 トラック種目は写真判定で行う。
(2)リレー 次走者のバトンの受け渡しは、30mのリレーゾーン内で行う。次走者はゾーンの中でスタートしなければならない。男女の走る順序は自由とする。
(3)スタート ①トラック種目は、クラウチングスタートとする。スターティングブロックは使用しなくても良い。
但し、3・4年生については、スタンディングスタートも認める。
②スタートはイングリッシュコールとする。不正出発に関するルールは、同一競技者が2回不正出発を行った場合は失格とする。ただし、退場ではなく、オープン出場とする。(そのまま競技は続けるが、順位はなし、記録のみ測定する参考記録扱いとする。)
(4)スパイクの使用を認める。(トラック7mm以下、フィールド9mm以下)。
スパイクは使用しなくともよい。競技用シューズについての規則(靴底規則)は適用しない。なお、素足での出場は認めない。雨天時はスパイクの使用が望ましい。
(5)走幅跳・ジャベリックボール投(コンバインドB)
①試技は2回とする。
②2ラウンド試技で行う。
③ジャベリックボールは、競技場で準備されたものを使用する。個人の持ち込みは不可。やり投げ用ピットを使用し、助走は15m以内とする。

競技場に準備してある炭酸マグネシウムをボールの先端につけてボール本体を持ちオーバーハンドスローで投げること。

(6) 走高跳 (コンバインドA)

① 跳躍方法は「はさみ跳び」で行う。着地は必ず足裏から着地すること。足裏から着地できない場合は無効試技とする。

② 試技は各高さ 2 回連続で失敗したら競技終了とする。

③ バーの上げ方は、次のとおりとする。(男女同じ)

④ 走高跳びのバーの上げ方

練習は 1 m 0 0 で行う。試技は 1 m 0 0 から行い、以降 5 c m 刻みで上げていく。

1 m 3 5 まで 5 c m 刻みで上げ、それ以後は 3 c m 刻みで上げる。

(7) 8 0 mH (コンバインドA)

小学生用ハードルを使用し、下記の規定で行う。

スタートから第 1 ハードル	ハードルの高さ	ハードル間の距離	台数	最終ハードルからフィニッシュ
1 3 m	7 0 cm	7 m 0 0 cm	9 台	1 1 m 0 0 cm
0m ~13m	~20m ~27m ~34m	~41m ~48m	~55m ~62m	~69m ~80m